

**ロシア革命 100 周年記念シンポジウム**にご参加を!

# ロシア革命とは何だったのか、 現代への教訓は何か



写真上:プチロフ工場(ペトログラード)の赤衛隊  
(1917年10月23日)。

写真左:赤の広場(モスクワ)で演説するレーニン  
(1919年5月)

1917年10月(ロシア暦、西暦では11月)のロシア革命の勝利は、全世界に衝撃を与え、世界中の労働者・勤労者を鼓舞しました(1918年に起きた日本の米騒動はその一例です)。

しかし、それから100年——ソ連邦は崩壊し、ロシアは米国と覇を競う帝国主義的ブルジョア国家として再登場しています(中国もその後を追っています)。

何故、“社会主義”ソ連でこんなことが起きたのでしょうか、これはメディアが言いはやしているように、社会主義の不可能性・資本主義の最終的勝利を意味するのでしょうか? この問題は、現代の働く人々の未来を考える上で決定的に重要です。

この度、私たちは、ロシア革命の100周年を記念し、その歴史的意義と現代への教訓を明らかにするために、シンポジウムを企画しました。関心ある多くの皆さんに参加を呼びかけます。

**日時** 11月12日(日) 午後1時半～4時

**会場** 長野市 もんぜんふら座 301会議室 (裏の地図をご覧ください)

**パネリスト** 鈴木研一(『資本論』安曇野読書会主宰)／堀内 哲(著述家)

**論点** ロシア革命は「社会主義革命」だったのか／何故スターリン体制が出現したのか、スターリン主義とは何か／何故ソ連邦は崩壊し、ブルジョア・ロシアが生まれたのか／総括として—ロシア革命の意義と現代への教訓は何か、など

**主催** ロシア革命100周年記念シンポジウム実行委員会

(連絡先 e-mail: mcg-nagn@beige.plala.or.jp)

\* 資料代・会場費:200円

(当日は、二人のパネリストがそれぞれ20-30分報告した後、フロアからの発言を求め、討議します)



<もんぜんぷら  
座案内図>



※地図上の駐車場が  
100円/1時間で  
安いです。  
会場東側のTOiGO  
駐車場も200円/  
1時間ですが補助  
券がでます。